

議会だより

創る、繋ぐ。子どもたちが誇れるまち

2024

令和6年7月29日発行

No.125

やまのべ議会だより

2024年7月号 VOL.125

あなたの声をお聞かせください

山辺小学校6年生～町議会傍聴から学んだこと～



片桐もも花さん（6年3組）

議員さんが提案したことに質問されても、私達でも分かりやすくていいね！に正確に質問を返していました。私も分かりやすく説明できるようになりたいと思いました。



大谷日葵さん（6年2組）

議会では質問に対して、町長だけではなくさまざまな課の人も答えることが分かりました。また、議員の人が自分の経験を踏まえて話していて分かりやすいと思いました。



高橋陸斗さん（6年1組）

議員一人一人が町のことをしっかりと考えて意見していることが分かりました。いろいろな資料や自分の経験を基にして、意見を一生懸命伝えようとしていることが分かりました。



廣谷日陽さん（6年3組）

議会では、特に地震のことに對してたくさん意見が交わされていたので、「地震の対策をしてくれているんだな。」と実感しました。



三浦実浩さん（6年2組）

議題に対して時間をかけていることやさまざまな人が関わっていることに驚きました。自分も委員会で行進をするときに、さまざまな人に関わってもらえるような進进行を心がけていきたいです。



三沢悠月さん（6年1組）

選挙体験をさせてもらって、自分が入れた票で候補者が選ばれるということが分かりました。あと6年もすると、本当の選挙で投票するんだなと想像することができました。

表紙の説明



山辺町・日上市交流協会設立20周年記念のメモリアルコンサートと、山野邊家16代当主「山野邊義達」様を交えた懇親会が、6月15日行われました。

やまのべ青少年少女合唱団と山辺中学校音楽部によるオーブニングに始まり、シュガーシスターズのコンサートでは日上市出身の作曲家「吉田正」氏の音楽を織り交ぜ行われました。

懇親会での山野邊様は挨拶に来る皆さんと終始和やかな笑顔でお話しされていました。

編集後記

わがまちやまのべは、「町制施行70周年」でさまざまな記念事業や行事を現在進行形で企画制作しています。6月15日には山辺町・日上市交流協会設立20周年記念メモリアルコンサートが行われました。

ふるさと納税返礼品で大人気のやまのべ特産品赤いほっぺのようなさくらんぼの収穫も終わりましたが、今年は雨が少なく、暑さが続き、収穫も大変のようでした。

今年の夏も猛暑が予想されています。皆さん、熱中症予防対策は万全に「水分補給とちよっと一休み」で、自己管理に努めましょう。

また、今年は正月早々に石川県能登半島で震災がありました。万が一に備えての自主防災、そして身を守るための備えを心がけていきましょう。

鈴木 誠也 記

■発行責任者 神保 稔
■広報常任委員会 長 保 稔
委員 長 村 保
委員 長 遠 山
委員 長 渡 藤
委員 長 佐 利
委員 長 鈴 木

定例会	くらしをより安全・安心・便利なものに！	2～3
一般質問	町政のここはどうする？	4～9
臨時会	まちの安全安心のために	9
小・中学生が議会を傍聴と見学		10～11
県への重要施策の要望		10
イベント情報		11

写真／山辺町・日上市友好都市提携20周年記念事業（関連記事 12ページ）

発行／山形県山辺町議会
編集／広報常任委員会

Eメール：gikai@town.yamanobe.yamagata.jp
〒990-0392 山形県東村山郡山辺町緑ヶ丘5番地
TEL.023-667-1117 FAX.023-667-1112

山辺町議会
ホームページは
こちら



◎町ホームページから、議会だよりが閲覧できます。

<https://www.town.yamanobe.yamagata.jp/>



町民のくらしをより安全・安心・便利なものに！ 災害時のために備えた体制の充実

第2回定例会
6月5日～7日

定例会のあらまし

第2回定例会が、6月5日から7日までの3日間の会期で開催され、10名の議員が一般質問を行いました。
人権擁護委員の推薦に同意。条例の一部改正と、令和6年度一般会計補正予算（第2号）、事業契約の締結3件の議案を審議し、いずれも全会一致で可決されました。その他、山形広域環境事務組合議員の選挙や、繰越明許費繰越計算書の報告がされました。また、議員の派遣についても報告されました。

条例の制定

○やまのベコミュニティバスの設置
及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定（令和7年4月1日施行）

・定時定路線バスの中作線の利用料金を改正。また定期券（高校生以下）と回数券を新設。

料金	100円→200円
定期券	4000円（1ヵ月）
回数券	2000円（12回）

・定時定路線バスの東西線・南北線を廃止し、平野部にデマンドバスを新設。

料金	300円
回数券	3000円（12回）

・山間部のデマンドバスの料金を改正し、回数券を新設。

人事案件

○人権擁護委員の推薦に同意

鈴木佳宏氏（根拠）

○山形広域環境事務組合
議会議員の選挙

樋口和男、渡邊裕二

議員発議

○議員の派遣

令和6年度、議員の識見を広め、議会の活性化と円滑な議会の運営のため、各種会議や研修会に議員を派遣する。

報告

○議員の派遣報告

「全国町村議長会主催の議長・副議長研修会」に渡邊副議長が派遣された。

令和6年度山辺町一般会計補正予算（第2号）

歳入歳出それぞれ4908万円を追加し、**総額 65 億 1935 万円**に

主な補正内容

- 社会保障・税番号制度システム保守業務委託料…………… 132 万円の増
- 児童手当支給事業のシステム改修業務委託料…………… 774 万円の増
- 65歳以上の高齢者を対象としたコロナワクチン接種委託料…………… 3399万円の増
- 中央公民館および相模公民館の修繕料…………… 96万円の増
- 公用車運行委託料…………… 66万円の増



北側駐車場の修繕を行う中央公民館

請願 1 号

請願名	政治資金規正法の改正について
請願者	山辺町革新懇話会（準備会） 峯田 博
趣旨	※前回号（No.124）をご覧ください。
紹介議員	日野 一春
結果	継続審査後 不採択

請願 2 号

請願名	学校給食無償を国の施策とすることを求める請願について
請願者	山辺町革新懇話会（準備会） 峯田 博
趣旨	給食無償化は子どもの食の権利・生存権を担保するものであり、国が実施すべき施策であるため、早急の実施を求めるものです。
紹介議員	日野 一春
結果	継続審査

※繰越明許費

料金	500円→600円
回数券	6000円（12回）

物価高騰対策商品券配布事業、新型コロナウイルスワクチン接種事業、農業者の担い手育成支援事業や、プレミアム付商品券発行事業などに対する2994万円は令和5年度で終了せず、令和6年度も引き続き実施する。

事業契約の締結

○指定避難所へのエアコン購入

町民総合体育館アリーナ、武道館、山辺町立小中学校体育館に移動式エアコンを設置
契約の相手方 峯田電器株式会社
契約金額 2922万円（税込）

○消防指令車の購入

25年以上経過した車両を更新
契約の相手方

株式会社長谷川ポンプ製作所
契約金額 692万円（税込）

○除雪車両の購入

凸凹のある路面を平らにするための除雪グレーダを購入
契約の相手方

コマツ山形株式会社山形支店
契約金額 3179万円（税込）



高さ195cmの移動式エアコン

※繰越明許費とは…歳出予算の経費のうち、年度内にその支出を終わらない見込みのあるものについて、翌年度に繰り越して使用する経費。



一般質問

町政のここはどうする？

一般質問は、議員が町の行財政や将来に対する考え方などを問い、適切な町政運営を進めているかチェックするものです。山辺町議会では、年4回の定例会で議員が一般質問をしています。

6月の定例会では、10名の議員が一般質問を行いました。

樋口 和男	観光	白鷹山麓嶽原に雪椿公園造成で里山再生を
渡邊 裕二	防災力向上	防災士の働きで災害時に柔軟に対応できる体制づくりを
鈴木 誠也	移住者支援	山辺住宅支援事業を町外施工業者利用者にも支援を
鍋倉 竹志	消滅からの脱却	「消滅の可能性がある自治体」から「自立持続可能性自治体」目指して
三浦 正好	線引きの見直し	市街化区域と市街化調整区域は
武田啓一郎	地域施策	町の未来展望に 棚上げの町民文化会館を
日野 一春	維持管理に支援を	「大型の防火・防災水槽」の維持管理は
村山 幸一	街並み景観	居心地がよく歩きたくなるまちづくりの推進を
佐藤 利和	まちの魅力	新文化施設建設の構想およびウォーターライダーの復活は
遠藤真由美	女性参画	防災対策に女性の視点を

※一般質問は、一問一答方式ですが、紙面の関係で主な質問と答弁を要約して掲載しています。



定例会のお知らせ

次回の定例会は9月です。
傍聴については、町ホームページをご覧ください。
電話 023-667-1117（議会事務局）

観光

白鷹山麓嶽原に 雪椿公園造成で里山再生を



樋口 和男
(町長)

質問 白鷹山麓には26ヶ所ほどの大小の雪椿群生地があるが、町の観光資源に新たに雪椿の追加を望みたいがどうか。

答弁 町内に自生している雪椿の群生状況は把握できていないが、嶽原地区の群生状況の確認のほか、地域周辺の環境整備や受け入れ体制など、町における環境資源となる可能性を探っていく。

質問 令和10年までの観光光入込数などの数値目標が観光振興計画に示されているが、「稼げる観光」への具体的な取り組みのために新たな投資事業の計画はあるのか。

答弁 現段階では、観光に特化したハード面での投資事業は計画していない。
町の強みを生かし、官民連携のもとソフト面での強化を図っていく。

質問 今年2月より募集している。応募があったが、申込者の都合で辞退した経緯となっている。



減反による荒廃地となっている嶽原地区の現状

資計画についての町当局の見解はどうか。

答弁 雪椿の観光資源は可能性はあるが、山形市大平の「雪椿と水芭蕉の里」と嶽原は少し離れており、一体的整備による規模拡大の可能性は低く、また、減少している県民の森の来場者数回復を目的とした観光のための公園造成は、現状、難しいものと考えている。

防災力向上

防災士の働きで災害時に柔軟に対応できる体制づくりを



渡邊 裕二
(町長)

各防災士間のネットワーク構築を図っていく

質問 防災士養成に町ではいつから助成し、何名受講しているのか。地域ごとの防災士の数は。

答弁 平成27年度からで、町で助成した人は現在22名。山辺地区で10名、近江地区10名、作谷沢と中地区にそれぞれ1名ずつ。日本防災士機構に確認すると、その他個人で受講された方を含め45名の人が資格を持っているようだ。

質問 10年目になるようだが、主な活動はなかったと思う。答弁にあった研修会の開催や参加経費の支援とは。

答弁 防災に関する情報を交換する機会を設け、活動状況や課題を集約し、ネットワークの構築を図る。



防災士による図上訓練の様子(日本防災士機構ホームページより)

質問 防災組織を対象に開催しているもの。経費の支援としては、講座受講料と登録料を補助している。

答弁 防災に関する情報交換する機会を設け、活動状況や課題を集約し、ネットワークの構築を図る。

質問 何人かの方と話をしたが、何をすればいいのかわからない人もいた。私も個人で資格を取ったのだが、今後どのような連携を図るのか。

答弁 大事なことは平時の備えだと思う。防災士から学ぶ機会を設け、役場職員も含め連携し、さらに町民の方々に共有していければと思う。

移住者支援

山辺住宅支援事業を町外施工業者利用者にも支援を



鈴木 誠也
(町長)

を第一義とし、山辺新築住宅支援事業を創設している

質問 山辺の現在、着工の多くが町外のハウスメーカーや工務店さんを選んでいて。昔ながらの木造住宅より洋風のデザイン思考の建物や坪単価の安い住宅を考えると考える家族が多く、山辺に移住し新築されるご家族のためにも、町外施工業者利用に支援を考えてはどうか。

答弁 町内に住所を有する個人事業者または町内に本店、支店もしくは営業所を有する法人と請負工事契約を締結するもので現在は考えてない。

質問 町内に住所を有する個人事業者または町内に本店、支店もしくは営業所を有する法人と請負工事契約を締結するもので現在は考えてない。

質問 山辺町に移住をされる方に対して重ねて町外事業者を利用した方にも補助金を。

答弁 地元事業者以外への助成については現在のところ考えていない。

質問 地元建設業者の多くが町外の手ハウスメーカーや工務店の下請け、山辺に新築を建てられる方は地元施工業者とは知らない。支援制度を見直し、すべての移住者に支援を考えてはどうか。今回の支援事業の



住宅分譲のほとんどが、町外業者利用の新築

答弁 今後に関しては考えなければならぬと思うが、この住宅支援事業は、町業者を守るためのものと考えている。

応募件数0件と聞いてこの件数も含めて町長の考えは。

「消滅の可能性がある」

町から脱却するには



竹志 鍋倉
(町長)「選ばれる町」になれるよう努力する

質問 山辺町独自の若者にアピール出来るような施策は。

答弁 一つ目は子育て支援の充実。二つ目はデジタル化による町民サービスの向上。三つ目は町の魅力発信の強化。

質問 住宅地が買い得感があり、山辺町に移住したいと思うような施策は。

答弁 現在、町としてニュータウンや住宅建設用地の整備についての計画はない。民間による宅地開発が行われているので、新築住宅建設に対する助成などを活用してほしい。

質問 山辺町の魅力発信と取り組みは。

答弁 山形県のほぼ中央にあたる山形



県都山形市に隣接する住みよい山辺町

盆地の南西側に位置し、県都山形市に隣接しており、地の利に恵まれている。

質問 若者たちが働ける雇用の場の創出は。

答弁 地方創生において雇用の創出は極めて重要なテーマである。企業誘致に当たっては、町では土地利用関係法令によるさまざまな規制などにより、大規模な商業・工業施設等の受け入れを進めることは難しいという現状だ。地域に根ざした企業の誘致については、県や金融機関などの関係機関と連携を図りながら可能な限りの努力をしていく。

質問 山辺町の魅力発信と取り組みは。

答弁 山形県のほぼ中央にあたる山形

JR左沢線の羽前山辺駅があることや、東北中央自動車道の山形中央インターチェンジが車で5分程度の場所にあること。周辺市町への交通アクセスが良く、土地の価格が比較的安価であるといった当町の魅力を発信していく。また、子育て施策や教育環境の整備をはじめ、さまざまな施策を実践し、やまのべ総合戦略に基づき、町の強みや特色を生かしながら、人口減少対策に取り組んでいく。

市街化区域と

市街化調整区域は



正好 三浦
(町長)人口減少対策の一つとして検討する

質問 54年間に亘って当町人口減少の原因は

答弁 3市2町で山形広域都市計画の区域区分を行い「線引き」を指定している。現在も大寺・相模地区は市街化を抑制する区域になっている。県や関係市町の動向を見ながら検討していく。

質問 都市計画法第34条11号などを導入して、市街化調整区域の緩和は、

答弁 山形広域マスタープランの見直し時期の2030年を目途に区域区分の廃止や都市計画法第34条11号の条例化について検討していく。

質問 富山市の隣に奇跡の村、舟橋村があります。市街化調整区域をはずしただけで、今でも年40



都市計画区域を示した山形広域都市計画図(山辺町)

人増えている。山辺町と似て好立地な場所です。土地が安いと、同じ条件ですが、どう思うのか。

答弁 舟橋村と当町の立地条件は似ているので人口減少対策などを参考にしていきたい。

質問 線引きを廃止にすれば業者の開発で人口増につながると思いますが、町はどうするのか。

答弁 3市2町で取り組んで行かなければならないこと。区域区分の線引き廃止は2030年を目途に検討していく。

町の未来展望に

棚上げの町民文化会館を



武田 啓一郎
(町長)「山辺町だね!」と言われるまちづくりを

質問 町民の思いは、5億2千万円におよぶふるさとづくり事業基金がある限り、いったん事業見直し棚上げとなっているとは言え、

答弁 町民の新たな文化活動の拠点中核となる施設建設の夢実現は、消えてはいない。むしろ、コロナ禍を機に新しい山辺町の文化を創出し、町民の潜在的な文化活動の再生を目指すし、山辺町民、山辺町の規模、身の丈に合った施設づくりを目指し始めても良い時期ではないかと考えるが、どうか。

基金の使途、取得済みの土地の活用について、変更などの考えは。

答弁 基金活用の指針は、条例に基づき、有効に活用していきたい。中央公民館は、平成22年に耐震補強および増改築改修工事をしていくが、築50年を超すため、維持管理費の負担が増えていること、各種イベント開催にあたっての施設面での課題もある。文化芸術の振興は、活力あるまちを形成するために必要であると考え、文化交流施設の整備について、さまざまな状況を検討していく。PFIなどの事業手法も含めて、町民が幸せになれるまちづくりを目指したい。



役場東の文化会館建設取得用地、先送りにも限界が。事業再開の糸口を、見出す時期では...

質問 時の変化ニーズに

答弁 町民から足を運んでもらえ、お客様をお迎えし、おもてなしできる。やっぱり、山辺町だね!と言われ

質問 防火水槽を地区住民が維持管理する

答弁 防火水槽の数は。地区管理の防火水槽の数は。

答弁 町が消防水利として台帳登録する防火水槽等貯水施設は192基。それ以外の私設貯水施設等は、消防団の協力を得ながら実態の把握に努めているが、現状全てを把握できていない。

質問 防火水槽を町管理に一括できないか。

答弁 台帳登録にない貯水施設等は、設置された個人や地区の財産であるため、原則として所有者による維持管理をお願いしている。なお、平成16年度より、台帳登録の貯水施設敷地の土地所有者と町、地区等の3者で土地使

見を伺う。町管理の防

火水槽の数は。地区管理の防火水槽の数は。

質問 現在、貯水施設の維持管理作業に対する助成制度はない。先人が守り維持されてきた貯水施設は、安全安心のために設置された大切な地区の財産であると認識している。地区を取り巻く状況にも変化があると思うが、これまで同様、地域全体の安全安心への取り組みのひとつとして、共助の面から協力をお願いしたい。



大寺上道地区にある大型水槽と泥吐き水槽(上流)

居心地がよく歩きたくなる まちづくりの推進を



幸一 村山
(町長) 官民一体となって魅力的な街並み形成を図っていく

質問 駅周辺は、空き地などの低未利用地が増えている。土地を有効活用できるように、相談窓口を設置し、対策を講じていくべきでは。

答弁 相談窓口も含め、近隣市町の取組み状況を参考にしながら、町の魅力・価値を低下させないよう、町に適した制度を調査研究していく。

質問 町を探索しながら歩きたくなる街並み景観を整備する「まちなかウォークابل」を進める考えは。

答弁 地元商店街や民間事業者などによる駅周辺施設の活用や、安全安心に回遊できる道路の整備も含め、官

答弁 遊具や施設の劣化や損傷を未然に防止しながら、修繕や更新かを、総合的に判断し、長期的視野で維持管理費のコスト縮減や平準化を図っていく。

質問 河川の災害対策や景観を守るため、日常的に地域、行政、土木業者と協働による定期的点検と管理体制の明確化を図っては。

答弁 町では日常的に点検・確認を行っている。地域のご協力もいただきながら、今後河川の定期的な点検と管理を行っていく。



改築された羽前山辺駅舎を起点に、歩きたくなる街並み景観の整備を

文化施設とウォータースライ ダーの構想は



利和 佐藤
(町長) 財政状況と優先度を勘案して検討する

質問 住みよい町ランキングも上位に位置付けられているが、さらなる町の魅力発信の観点から、新たな文化施設の建設構想はないのか。

答弁 膨大な予算を必要とするために、産官学が一体となって実現できるよう、ふるさと納税のさらなる上積みや、財政状況の把握を通して継続的に検討していく。

質問 選挙公約に掲げたウォータースライ

答弁 現在文化活動の拠点となっている中央公民館は、平成22年に耐震補強と増改築工事を行った経緯があるが、築50年を経過しているために、維持費の負担が増えていることに加え、各種イベントの開催にあたり課題があるという実情がある。町の財政状況や優先度、町民の意見・意向を踏まえて前向きに検討する。

質問 その財源の確保の見通しは。



ウォータースライダーの復活を

ダー建設の進捗状況は。

答弁 解体および建設費用が社会情勢の変化に伴い高騰している状況にあるため、事業実施には至っていない状況にあるが、スライダー単体だけでも、型の違ったものへ変更することや、プール全体の今後の活用を見据え、サイズの変更や安全性を保てる施設の実現、また、子どもたちの期待にも沿えるよう努力していく。

防災対策に女性の視点を



美由 遠藤
(町長) 地域防災力を充実・強化させる上で、女性の視点が重要と認識している

質問 国の防災基本計画2005年に「女性の参画・男女双方の視点」が、2008年には「政策決定過程における女性の参加」が明記された。

答弁 ある研修の中で、全国の行政・防災担当部署のうち61・1%の市区町村で避難所に女性職員が配置されておらず、避難所運営に女性の視点が十分に反映されていない現状と聞いた。当町ではどうか。

質問 女性目線を含めた避難所運営に努めているか。

答弁 西日本のある市では、東日本大震災の事例を教訓に、女性職員のみで構成する委員会を設置した。当町でもどうか。

質問 災害現場における女性の参画を拡大することは大事。意見を反映させるようなワークなども今後考えていきたい。

答弁 災害時に迅速に避難所が開設・運営されるように事前にマニュアルの策定・各避難所への担当職員の割り当てを行っている。災害時にはできる限り女性職員が各避難所に配置されるよう調整し、

質問 防災備蓄用品を選ぶ際に女性職員の視点は入っているか。

答弁 保健師など女性職員にも聞きながら選



女性消防団による防災紙芝居で親子に啓発(大門ブロック協議会イベントにて)

安全安心のために 老朽危険木ポプラの伐採事業費 などを可決

第1回 臨時会

令和6年4月23日

第1回臨時会のあらまし

令和6年度第1回臨時会が4月23日に開催されました。令和5年度山辺町一般会計補正予算(第6号)を含む3議案の専決処分と、令和6年度山辺町一般会計補正予算(第1号)について町長より説明があり、4議案すべて、全会一致で可決されました。

令和6年度山辺町一般会計補正予算(第1号)

1億4345万円を追加し、総額64億7027万円に
町民税賦課事業 330万円の増
非課税世帯等臨時特別給付金給付事業 1億4345万円の増
都市公園維持管理事業(ポプラの伐採) 290万円の増

専決処分

令和5年度山辺町一般会計補正予算(第6号)
各種交付金などの確定による、増額・減額の調整
1億9400万円を追加し、総額70億1516万円に
財政調整基金積立金 1億7000万円の増
ふるさと応援事業(実績見込み) 6200万円の増
除雪事業(実績見込み) 4000万円の減

条例の一部改正

令和6年度税制改正に伴い、地方税法の一部を改正する法律等が令和6年3月30日に公布されたことにより、当町の条例を整備する必要があるため
○山辺町税条例の一部改正
(個人住民税寄附控除、個人住民税定額減税、固定資産税特例措置期限の延長など)
○山辺町国民健康保険税条例の一部改正
(後期高齢者支援金等課税限度額の引き上げ、軽減措置判定基準額の見直しなど)

※専決処分とは…地方公共団体の議会が議決または決定すべき事項を、
特定の場合に限り、地方公共団体の長が議会に代わって処理すること。

未来を担う子どもたちが 議会傍聴や議場の見学 に訪れました



山辺小学校6年1組の皆さん



山辺小学校6年2組の皆さん



山辺小学校6年3組の皆さん

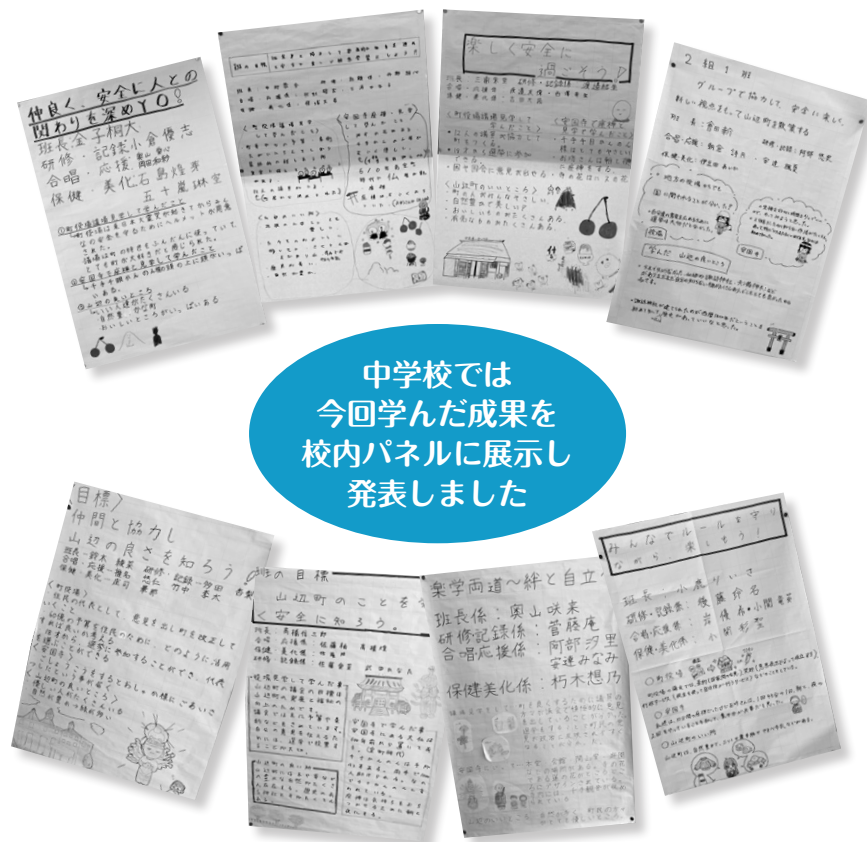
小学生の感想は
P12 あなたの声へ
掲載しております



山辺中学校の皆さん



中学校では
今回学んだ成果を
校内パネルに展示し
発表しました



議場を見学して、
議会の役割について
学びました。

- ・議会は、山辺町の発展と住民福祉の向上を目指し議論している。
- ・議会と町の執行部は対等の立場で、条例改正や予算など審議している。
- ・議員は、住民の代表として知恵を出し合って、町づくりをしている。
- ・町民が納めた税金を使って、暮らしをより良くするため話し合っている。
- ・町議会からも、国や国会に対し意見書を提出することができる。
- ・議員選挙は、自分の意見を代弁してくれる人を選ぶ大切なものだ。

近隣市町のイベント情報

イベント	期 日	場 所	内 容	問合せ
山形市 山形花笠まつり	8月5日(月)～7日(水)	山形市中心市街地直線コース(十日町～文翔館前)	艶やかな衣装と紅花をあしらった笠を手にした踊り手が、市内の目抜き通りにパレードします。	山形県花笠協議会 Tel.023-642-8753
山形市 日本一の芋煮会フェスティバル	9月15日(日)	馬見ヶ崎川河川敷	山形名物の芋煮を直径6.5mの大鍋で約3万食分。地元産の食材にこだわったおいしさもスケールも日本一の芋煮会。	日本一の芋煮会フェスティバル協議会事務局 Tel.023-622-0141
上山市 蔵王ペンション村オープンガーデン～山の秋の庭	9月28日(土)～10月14日(月・祝)	蔵王ペンション村	ペンション8軒の庭を公開します。庭の草木や山野草が色づく美しい庭を観光しながらランチやお茶が楽しめるペンションもあります。入場料無料。	ペンションあつぷる Tel.023-679-2329 ペンションステラ Tel.023-679-2320
上山市 上山城ナイトミュージアム	8月12日(月・振休)	上山城	一年に一度、夜の上山城に入ることが出来るスペシャルな一日。入館料有料。展望台からは夜景も見ることができます。	上山城郷土資料館 Tel.023-673-3660
中山町 第3回中山すもウォーキング	9月16日(月・祝)	中山町地内【スタート：中山町総合体育館】	中山町の秋を感じながら、年齢・性別に関係なく、みんなで気軽に町内を歩くスポーツイベント。7月に申込開始。定員300名。	中山すもウォーキング実行委員会 Tel.023-662-2175
中山町 第15回元祖芋煮会in中山	10月13日(日)	最上川中山緑地イベント広場(予定)	芋煮会発祥の地である中山町で行われるイベント。今年は町誕生70周年記念として未来の芋煮コンテストを実施予定。	中山町観光協会事務局 Tel.023-662-2114

自治功労者表彰

永年にわたり町議会議長として地方自治の振興発展に寄与された功績に対し、村山地方町村議会議長会より表彰状が授与されました。



樋口 和男 議員

山形県知事へ重要施策の要望

令和7年度町重要施策について、神保議長が安達町長・鈴木県議会議員と共に6月20日、県庁および村山総合支庁に、次の要望活動を行いました。

1. 子育て支援医療給付の制度化について
保護者等の経済状況にかかわらず、高校生までの子育て支援医療給付制度の創設を県として国に強く要望を
2. 小鶴沢川の河川改修事業の事業促進について
令和2年7月の豪雨を受けて、小鶴沢川を3年度に「村山圏域河川整備計画」変更追加していただいた経緯がある。しかし過去にない記録的な大雨により堤防が決壊となれば、沿川の住宅地や福祉施設、中山町境界の農地までの浸水が想定されるため、引き続きさらなる事業推進を
3. 主要地方道山形朝日線(山辺工区)道路整備事業促進について
本路線は令和元年度から事業化され、住民説明会・用地測量や用地買収を通して着実に事業推進が図られているが、この路線が整備されるまでは中学生の通学は危険な状況である。通学する中学生の安全を確保するためにもさらなる事業推進の加速化を

